

DBMotoインストール先サーバ

Windows Server 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008

Windows 10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista

- ・Microsoft .NET Framework 4.6、4.5 又は 4.0 (Full) がインストールされている必要があります。
- ・ソースDBとターゲットDBに接続する.NETドライバがインストールされている必要があります。

対応データベース

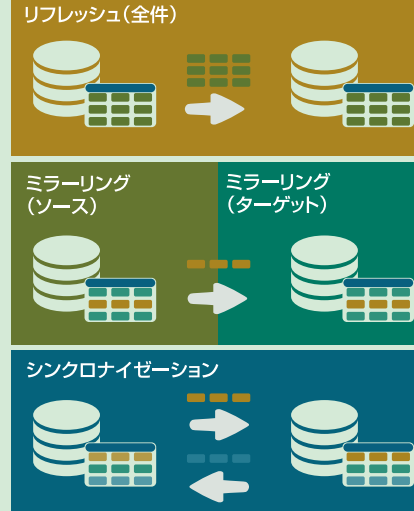
DBMotoには全件読み取り、書き込みのみをサポートするデータベースと変更されたデータの読み取りもサポートしているデータベースの2種類があり、これにより利用可能なレプリケーションモードが異なります。

リフレッシュ(全件) シンクロナイゼーション ミラーリング(ソース) ミラーリング(ターゲット)

IBM DB2 for i (AS / 400)
IBM DB2 for z / OS
IBM DB2 for AIX
IBM DB2 for Windows / Linux
IBM Informix
IBM PureData (Netezza) (ミラーリングのみ)
Oracle (Amazon RDS対応)
MS SQL Server (Amazon RDS対応)
MS Azure SQL Database
MySQL (Amazon RDS対応)
Amazon Aurora (MySQL互換)
Maria DB
Google Cloud SQL for MySQL
PostgreSQL (ミラーリングのみ)
SAP Sybase ASE
SAP Sybase SQL Anywhere
SAP HANA (ミラーリングのみ)

リフレッシュ(全件) ミラーリング(ターゲット)

Amazon Aurora (PostgreSQL互換)
Google Cloud SQL for PostgreSQL
Redshift
SAP Sybase IQ
HP Vertica
MS Access
Firebird
Ingres
Actian Vectorwise
IBM SolidDB
Hadoop
Teradata
Green Plum (計画中)



導入事例:株式会社ぐるなび様

移行・バックアップ・データ連携の3パターン構成

<移行>

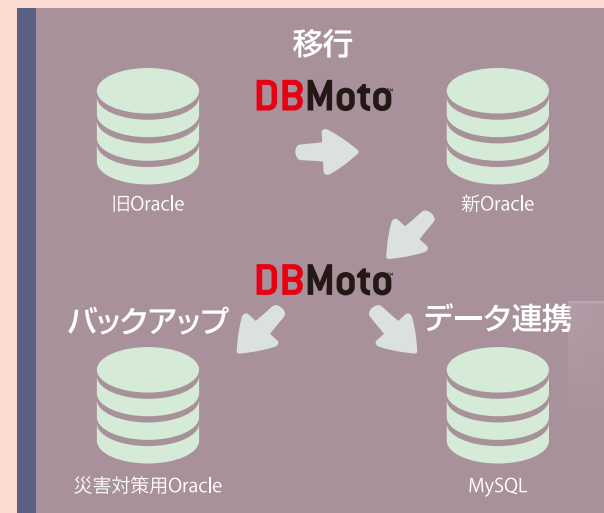
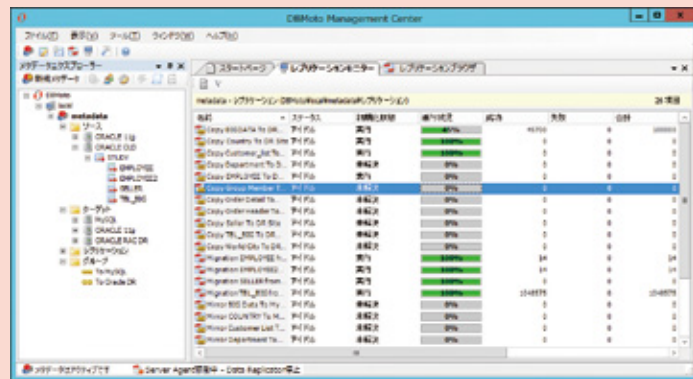
システム停止時間を最小限に抑えてのOracleデータベースの移行

<バックアップ>

ディザスタリカバリ環境構築により、障害時は切り替えのみでOK

<データ連携>

他システムへの連携用にMySQLへレプリケーション



製品サポート

年間サポートメンテナンス

- ・Webフォーム、E-mail、電話によるお問合せ対応
- ・導入、設計に関する技術相談
- ・日本語仕様説明書

プリセールスサポート

製品評価版をご利用いただくお客様も、期間中は
お問合せ窓口のサポートをご利用いただけます。

お電話でのお問合せ ▶ **03-3660-9336** 受付時間 9:00~18:00 (土日・祝日を除く)



株式会社クライム
www.climb.co.jp



本 社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-36-7 蛸殻町千葉ビル4F
Tel: 03-3660-9336 Fax: 03-3660-9337 E-mail: soft@climb.co.jp

大阪営業所 / Tel: 06-6147-8201 名古屋営業所 / Tel: 052-462-1282
©Climb Inc. 08092019

ORACLE®

Microsoft®
SQL Server®

Microsoft® Azure
SQL Database®

MySQL™

SAP® HANA®

SAP® SYBASE®
PostgreSQL

Google
App Engine™ Datastore

IBM® DB2® for i,
AS/400

IBM® DB2® for
z/OS

IBM® DB2®
LUW

IBM®
Informix®

IBM®
PureData™



デービーモト

DBMoto™

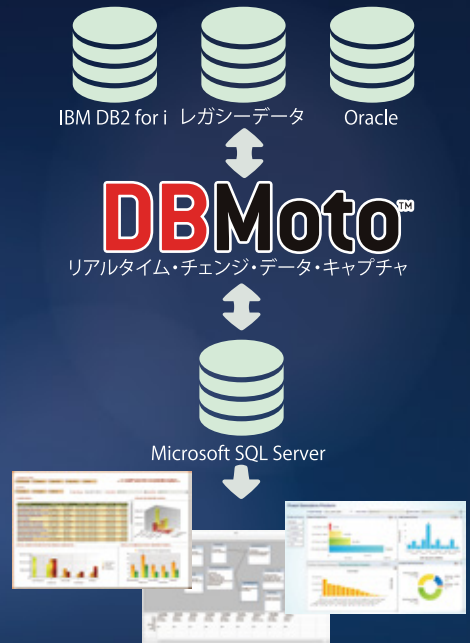
異種間、高速、リアルタイム、双方向
多種 DB に対応したデータベース レプリケーションツール

✓ 対応力

- 多くのDB/DWHに対応
- DBはOSに依存なし
- 物理、仮想、クラウド

DBMotoは多くの主要データベース間でのレプリケーションを実現できます。また、エージェントレスなソリューションであるため、そのデータベースが稼働するOSや仮想、クラウドといったプラットフォームには依存せず、柔軟に対応できます。

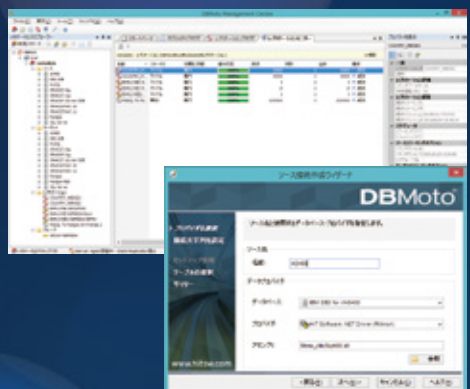
さらに、読み取ったデータをそのまま転送するのではなく、DBMotoで目的の形式に変換し、ターゲットのデータベースに書き込むことも可能です。



✓ 使いやすさ

- Windowsによる一元管理
- エージェントレス
- ツールは日本語表示
- 導入簡単 (1分以内)
- 設定簡単 (コンサル不要)

DBMotoはエージェントレスな製品であり、Windowsにインストールすることで中間サーバとして稼働します。これにより、各DBサーバにエージェントをインストールするなどの手間なく簡単にレプリケーションを実施できます。また弊社クライムで日本語化を行っており、海外製品特有の言語問題に悩まされることがなく、簡単に構築、設定を行うことが可能です。



DBMotoで実現8通りの活用例

1 eコマースシステム/Webポータル

eコマースシステムやWebポータル用のデータベースとレプリケーションすることでライブデータへの遅延のないアクセスと管理を実現できます。また、DBMotoであれば、異なるシステム間であっても同期を実現し、安全にデータを複製可能です。

これにより、DBMotoを使用することで、発注や製造、倉庫、会計、課金などの異なるシステム、データベース間でリアルタイムに効果的にデータを共有できます。

そして、このようなクリティカルなシナリオでも、DBMotoであれば高速なレプリケーションを提供可能です。

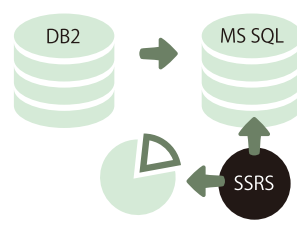


2 集約型のレポート/BIシステム

効果的に分析やレポートを行うためには正確でタイムリーなデータが必要です。

しかし、24時間365日、稼働しているようなメインシステムではこれがボトルネックとなり、分析要求と毎日の負荷を両立することが難しく、最新のデータ要求が膨大になり、データベースの応答能力を超えてしまうなどの問題が考えられます。

この問題に対してDBMotoの高性能なレプリケーションを使用することで、全てのデータベースからリアルタイムにMicrosoft SQL Serverなどのデータベースにデータを複製できます。これにより、低コストで安全に正確なデータをレポートやビジネスインテリジェンス、データウェアハウスで利用できます。



3 ビッグデータシステムへの移行

DBMotoはSAP HANAやHP Vertica、Actian Vectorwise、IBM PureDataといった主要なビッグデータ・プラットフォームをサポートし、シームレスなデータロードとデータミラーリング機能を提供します。

新たなビッグデータ・プラットフォームを構築する場合や他のデータベースから移行する場合に、DBMotoはシステム間でのデータレプリケーションを迅速かつ容易にします。

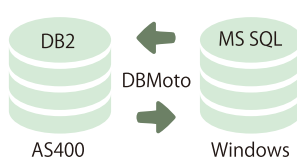
また直感的なウィザードと効率的なビジュアルインターフェイスにより、ITスタッフは迅速かつ容易にレプリケーション要件を実装できます。



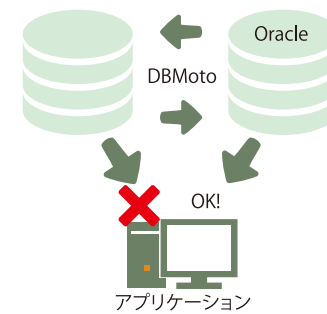
4 古いシステム/異なるシステムからの移行

レプリケーションを行うことで複数のデータベースやデータウェアハウスにデータを複製し、複数のプラットフォームやリアルタイムなデータアクセスを実現できます。これにより、合併や買収による統合、クラウドコンピューティングの要件、ハードウェアのサポート終了、サービス形態の変更 (SaaSなど)、コンプライアンスやリスク管理、リモート管理、マスターデータの管理やデータガバナンスなどの様々な問題/課題に対処できます。

使いやすく、簡単な管理ウィザードにより設定も一瞬です。また、他のデータ統合ソリューションとは異なりDBMotoなら、プログラミングフリーなスクリプト技術によりデータレプリケーションの完全なコントロールを実現できます。



5 互換性のないアプリケーションや複数拠点間での同期



DBMotoは、データ統合プロジェクトに最適なソリューションです。主要なリレーショナル・データベースに対応しているため、複数データベースにまたがるデータも、素早く統合でき、簡単にメンテナンスも行えます。

例えばレプリケーション数が増えたことによるセッション数の増加の負荷が気になる場合には、レプリケーショングループ機能により、複数レプリケーションをまとめてグループ単位でのセッション管理が行えます。これによりソース/ターゲットへのセッション数を削減、効率的なトラフィックを実現できます。

6 災害対策、データ保護のためのバックアップとリカバリ



DBMotoでは用途に合わせた3種類のレプリケーションモードを用意しています。これにより災害復旧のためのデータ複製、バックアップも簡単です。

リフレッシュモード:

全件データを読み取り、管理者が定義したマッピングルールに基づきターゲットのデータベースにデータを書き込みます。

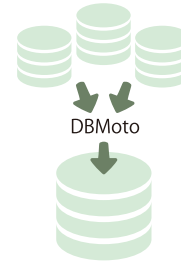
ミラーリングモード:

ソースからターゲットにリアルタイムで差分レプリケーションを行います。トランザクションログを読み取り、変更レコードを最小限のデータトラフィックで転送可能です。

シンクロナイゼーションモード:

ソース、ターゲット双方から差分データを同期します。同一レコードへの変更によるコンフリクト対応も柔軟に設定可能です。

7 プラットフォームの削減/データベース統合



DBMotoでは3つ以上のデータベース間で、データを同期し、調整するマルチサーバでのシンクロナイゼーション機能を提供します。レポートや分析のために低コストなデータベースにデータを複製することが可能です。

これにより、本当に必要のあるデータベースやプラットフォームのみにデータを統合し、ライセンスやメンテナンスの手間を削減することで、コスト削減が可能です。

8 クラウドへの安全な移行



DBMotoはTCP/IPで直接、接続可能であればAmazon AWSやMicrosoft Azureといったクラウド上のデータベースに対してもレプリケーションを実施可能です。

さらに、安全かつ迅速にファイアウォール越しでデータベース間でのチェンジ・データ・キャプチャを実現するDBMoto Cloud Editionも提供しています。

DBMoto Cloud EditionではWebサービスを介して、ネットワークへの直接接続がなくても、レプリケーションが可能であるため、従来の面倒で手間のかかる低速なフルコピーでのリフレッシュを実施する必要はありません。この高速で効率的かつ安全なデータ更新が行える、DBMotoの高度なチェンジ・データ・キャプチャ技術でクラウドの利点を安全に最大限、活用できます。

✓ 柔軟性

- ほぼリアルタイム
- 自動テーブル作成
- 柔軟なスケジュール
- 関数/スクリプト/API
- データ変換
- 小規模から大規模まで

DBMotoはお客様のニーズに合わせた、柔軟なレプリケーション機能を提供します。例えば今までバラバラの形式で各データベースに格納されていたデータを一つのDBへ同じ形式に変換し格納することや文字コードの自動変換、スクリプトによるカスタムでのコンフリクト回避など詳細な部分までレプリケーションを管理できます。

リフレッシュ(全件)



ミラーリング(片方向差分)



シンクロナイゼーション(双方向差分)

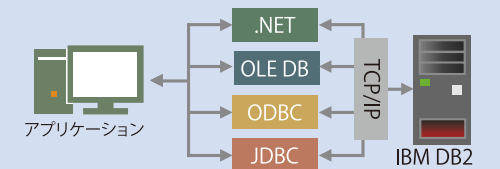


IBM DB2用 接続ドライバ・ファミリー

DB2コネクティビティ

DB2 Connectivity

アプリケーションからIBM DB2データベースへの高速アクセスを可能にする高性能ODBC、OLE DB、.NET、JDBCドライバ・ファミリーです。



Ritmo (リトモ) .NETマネージド・プロバイダ
.NETフレームワーク・ベースのアプリケーションからDB2へのアクセスを最適化できます。

HIT OLEDB (ヒットOLEDB) OLE DBドライバ
アプリケーションからDB2へのADO経由、または直接アクセスを最適化できます。

HIT ODBC (ヒットODBC) ODBCドライバ
アプリケーションからDB2へのODBC経由でのアクセスを最適化できます。

HIT JDBC (ヒットJDBC) JDBCドライバ
JavaアプリケーションからDB2へのJDBC経由でのアクセスを最適化できます。